

商店会の設備維持管理

鈴木　宏樹　議員



商店会の街路灯と防犯カメラ

問　街路灯と防犯カメラの設置数は。

答　市内商店会が所有する３４１基のうち、不具合がある街路灯59基を確認している。

　防犯カメラは１２０基の設置を確認している。設置年は個々の設備について正確な設置時期を把握していない。年間の維持管理では電気料、保険料、設備の修繕に対する支援を行っている。

問　商店会と市の設備を統合しては。

答　長期的かつ持続可能な形で維持管理ができる仕組み作りに向け、商工会及び商店会連合会と市が一体となり、構築に向けて研究していきたい。

給食の材料調達と持続可能性

問　おいしい学校給食を守るためには。

答　一年を通して物価高騰等による食材価格への影響を総合的に見極め、大幅な食材購入費の不足が見込まれる場合、給食費として保護者負担か、市が物価高騰分を負担か、慎重かつ適切に判断する。育ち盛りの子どもたちに、質、量を落とすことなく安全安心な給食を継続的、持続的に提供できるよう適切に取り組む。



市民の声を駅前整備に

小林　久美　議員

問　民間開発で東武ストア隣接道路が５・５ｍに拡幅される。歩行者や車の動線と安全確保は。

答　幅員４・５ｍの緑地による歩行空間と歩道橋を整備し、歩車分離の歩行者動線を確保する。

問　将来の変化を見据え、駅前整備に可変性を持たせることについて市の考えは。

答　重要と認識している。駅舎の建て替えや環境変化が生じた際には、その時代のニーズに応じて柔軟に対応する。

問　駅前広場の整備で、市民や駅利用者から意見を聞く機会を設ける考えは。

答　現段階では市民アンケート等による意見集約ではなく、近隣商店街、鉄道事業者、埼玉県警などとの協議を進める。将来、環境変化が生じた際には、意見聴取の方法を考えたい。

職位別の女性登用計画を

問　副課長級38・５％だが、次長級18・２％、部長級８・３％と、職位が上がるほど低下している。副課長級以上の一括した目標ではなく職位別の登用計画が必要ではないか。

答　各階層の数値目標は、指標や数値ありきの配置になる可能性があり、慎重に考える必要がある。

整備計画づくりが進む上福岡駅東口駅前広場



ふくし総合相談センターの周知

鈴木　美恵　議員

問　どこに相談したらいいのか分からないという人、複合的な困りごとを抱える人の相談を受けとめ支援する、ふくし総合相談センターのさらなる周知は。

答　様々な広報媒体を活用し、見やすく分かりやすい情報発信と、地域の身近な場所で相談につながる「つながる相談窓口」などの周知を図る。

　さらに様々な機会に、ふくし総合相談センターが困りごとに対し、まず、相談できる場所であることを知らせる周知啓発に努めていく。



どんな困りごとでも相談できる

災害時における子どもの居場所を

問　避難所において、子どもが安心して過ごせるスペース、遊びや学びのための場所の確保は。

答　子どもの遊びや学びのためのスペース確保については、現在の地域防災計画等に明確に位置付けていない。そのような中、こども家庭庁が「災害時のこどもの居場所づくりの手引き」を策定した。本市でも令和10年度から11年度に予定している地域防災計画の見直しの中で、子どもの居場所の確保について明確に位置付けて取り組んでいきたいと考えている。



放課後児童クラブ支援員の処遇改善

塚越　洋一　議員



急がれる支援員の処遇改善

問　人材確保困難時代に向け、生活給の保障、定期昇給など支援員の処遇改善を。

答　子どもたちが慣れ親しんだ支援員が勤務を継続できるよう、モニタリングを通じ労働環境を確認している。指定管理者が安定した運営を継続できるよう体制を整えている。

中学校給食の無償化を

問　近隣自治体で次々と実施している中学校給食無償化について市の見解は。

答　各自治体が競うように取り組むものでなく、国の施策として統一的に実施されるべきと考えている。引き続き国の動向を注視していく。

地蔵街道の歩道と交差点の整備

問　隅切り・歩道拡幅・電柱の移動等できるものから改善を。

答　土地利用の変換や開発の際に必要性を説明し、用地の確保ができるよう対応していく。

市民憩の森の存続を

問　市街地に残された貴重な緑の空間である。市が買い取るべきでは。

答　購入は難しいと判断している。開発の動向等を踏まえ、市が所有する土地の在り方について検討していく。



文化施設に楽器の整備

民部　佳代　議員

問　来夏開館予定のステラ・セントラルに設置予定の楽器は。

答　地下ホールにグランドピアノ、隣のスタジオにアップライトと電子ピアノ、また多目的ルーム等で活用できる電子ピアノを設置予定である。

問　ステラ・イースト３階多目的ルームにはかつてグランドピアノがあった。活用されていないカフェ横のアップライトピアノを３階に移設しては。

答　移設は可能だが、利用団体の意見を聞きながら柔軟に検討する。

問　ステラ・ウェストでは市民団体や中学校吹奏楽部の演奏会などが行われるが、ティンパニやマリンバなど大型の楽器は運搬が困難で利用者の負担となっている。計画的に整備しては。

答　運搬の負担は認識している。利用者のニーズを聞き設置すべき楽器を検討する。

給水スポットの設置を

問　プラごみ削減や熱中症対策のため、公共施設にマイボトル用給水スポットの設置を。

答　環境や健康面に効果的だが費用や衛生面が課題である。必要性や効果を検証し各施設と協議し検討する。



運ぶのも一苦労



上福岡駅東口の民間開発

床井　紀範　議員



北野地区から上福岡駅への道

問　交通動線は、周辺の生活道路との関係でどう変わるのか。

答　東武鉄道が所有する敷地内通路は、車が通り抜けない計画だが、敷地内通路沿いに幅員４・５ｍの緑地による歩行空間を整備する計画である。

　さらに、事業者により東武ストアから新たに歩道橋を設置する計画で、歩道橋を利用することにより、駅改札から緑地による歩行空間へとつながる計画となる。北野・大原方面の住民や新たに建設される共同住宅の住民も歩車分離される歩行者動線が確保される。

公園遊具の充実とボール遊びを

問　インクルーシブ遊具を積極的に導入・拡充を。

答　西ノ原中央公園には導入を検討している。

問　もっとボール遊びができる公園を。

答　今後も考えていく。

小・中学校校外学習保護者負担の軽減を

問　物価高騰が進み、小・中学校の校外学習の保護者負担が重くなっている。市として公費負担の考えは。

答　今後も各学校とともに、継続的に負担の軽減に努める。また、就学援助制度をはじめとした支援制度の適切な運用に引き続き取り組んでいく。